

大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide



研究が楽しくて
博士後期課程に
進学したけど…

アカデミアに
進みたいけど
将来が見えないし…

自分の専門を
活かせる企業が
思い浮かばない…

周りには
キャリア相談
できる同期が
少ないし…

研究が忙しくて
就職活動が
なかなか
できない…



そんなあなたは、まず企業と接し
てみよう、研究をするなら産業界と
いう広く大きな世界がある事に気が
付きます。

思いもよらない企業があなたの方
のような人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P12へGo!

D2/D3/PD
Type.1

【研究没頭タイプ】

●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

あなたはどのタイプ?

【計画設計タイプ】

Type.2
M1/M2/D1

●DC進学か就職か、考え時だなあ…

●まだ余裕があるぞ、アカデミアか
企業か、しっかりと情報収集しよう!!



そんなあなたは、自分の専門性の
活かし方を探ってみよう、そして
プラスアルファのスキル習得で大きく
幅を広げられるかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P6へGo!

早いうちに複数の
選択肢を検討して
おきたい…

研究は楽しいけれど
博士後期課程は
将来が不安…

企業では
どのような研究が
できるんだろうか…

大学と企業って
研究のやり方が
違うのかなあ…

社会に出てから
役立つスキルを
身に着けたい

先端人材育成センターが提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型
(DC・PD)

意識改革型
(MC・DC・PD)

⑪ 博士力実践インターンシップ

業務を経験
.....P16へ

⑩ 企業研究サイトビジット

企業で論議
.....P15へ

⑨ 赤い糸会

企業と論議
.....P13へ

⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD限定
.....P12へ

実践重視のD2、D3、PDへ

⑦ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る
.....P7へ

⑥ エントリーシート書き方セミナー

実践につなげる
.....P7へ

⑤ 小論文・作文セミナー

実践につなげる
.....P8へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る
.....P11へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る
.....P9へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る
.....P6へ

余裕のあるM1~D1へ

① Hi-System 登録

まずは
ここから!

全員登録!
.....P4へ

① Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの
お知らせが
届きます
(Event News)

企業情報や
就職情報の
閲覧が可能
(Company Info)

企業への
自己PRを
発信できます!
(Expose your PR
Information)

Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト
Exclusive information exchange platform



僕はアカデミア志向…
だけどTransferable Skill
はどんな場面でも必要だ。登録
して活用しよう!



MCでの就職も、DC進学後に
就職するのもおもしろそう。
情報やイベント満載だわ!
早く登録しよっと。

まずはご登録
ください!

Hi-Systemへは先端人材育成センターホームページよりアクセス!

Get access to Hi-System
from the Front Office for Human Resource Education and Development website!

<https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/>

左バナー「Hi-System」→Hi-Systemログインページへ

Left banner "Hi-System"→Go to the Hi-System login page



みなさんをサポートするチームです

S-cubic

S-cubicは大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在學生、またPDの皆さんが多様なキャリア、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

COFRE

COFREはS-cubicで実施しているプログラムに加え、12大学(東北大学、新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、名古屋大学、立命館大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学)の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

I-HoP

I-HoPは英語で学ぶ外国人大学院生や研究者のためのプログラムを実施しています。英語での相談など、是非ご活用ください。

Xやっています



博士のための情報を発信するために

Xを運営しています。

是非フォローをしてお役立てください。

② キャリアマネジメントセミナー（授業）

MC・DC・PD

1. イノベーションの本質がわかる!
2. 企業の研究開発の考え方がわかる!
3. 社会で活躍するスキルが身につく!



企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。昨年は500人近くの受講者がありました。

1. 大学院共通授業科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目
(研究指導科目を含む)
キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

2024年度実施状況

※講義動画の配信により実施

	講義内容	講師	
1	イントロダクション	先端人材育成センター	吉原拓也
2	イノベーションを起こす	先端人材育成センター	吉原拓也
3	企業の種類と分析	先端人材育成センター	片垣麻理子
4	自己理解	先端人材育成センター	村上理恵子
5	プレゼンテーション	イノベーターズ・キャリア・サポート	松尾誠二
6	知的財産マネジメント	先端人材育成センター	吉原拓也
7	アントレプレナーシップ	ベビログ	板羽直人
8	マーケティング	日本電気	小糸達也
9	発想法	東京大学	藤本徹
10	商品創造/新商品開発	セコム	甘利康文
11	企画書の書き方	先端人材育成センター	吉原拓也
12	企業(1)先端技術と新規事業	ANAホールディングス	津田佳明
13	企業(2)先端技術と新規事業	ソニーグループ	矢藤有希
14	企業(3)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社	上野正一
15	リーダーシップ	住友ファーマ	板倉朋宏

2025年度実施予定

開催日時:2025年4月～7月
毎週1コマ 全15回

受講方法(予定)

- ①Hi-Systemに登録し、イベント情報から「2025年度キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。
 - ②単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。
- ※詳細はシラバスをご覧ください



受講者の声

2024年度受講者アンケートより

自己分析や企業分析をはじめ、就職活動中や就職してからも大切になるであろう考え方を多く学ぶことができました。

就職活動を始めた今、すぐに実践できる非常に実用的な内容で、実際にこの講座のおかげで負担が軽減された選考が多数あった。後輩にとっても有用なのは間違いない。

自分のキャリアや研究の進め方について基礎から考え直すいい機会になった。このまま何となくで就職してしまっていたのかという漠然とした不安があったが、良いのかどうか考える方法を学ぶことができ、問題はまだ解決していないが解決の方向に進んでいるような気がして精神的に少し楽になった。



⑥⑦ キャリアマネジメントセミナー（演習）

MC・DC・PD

1. 良い第一印象が身につく!
2. コミュニケーション力が向上する!
3. 博士らしいESが書けるようになる!



社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーと、エントリーシートの考え方を学ぶセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)及び(株)エマージングテクノロジーズより経験豊かな講師をお迎えしています。

ビジネスマナーの基本と実践

2025年度実施予定

2025年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象

社会人としてふさわしい接遇（おもてなし）の具体的な表現方法や、オンラインでのコミュニケーションのポイントをペアワークなどの演習をまじえながら学びます。

2024年度受講者アンケートより

2024年度実施状況

※オンラインで実施



ANAビジネスソリューション・高原講師

対面で必要な知識だけでなくオンライン向けの情報もあり、有意義な時間を過ごすことができました。

研究だけではなく社会のお作法を知ることで、臆することなくお互いに気持ちよく色々な人との交流が生まれるきっかけとなるセミナーだと思いました。

後半のロールプレイも、しっかり身に付いている感覚があり、受講してよかったです。名刺も作りに行こうと思います!

エントリーシート書き方セミナー

2025年度実施予定

2025年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

研究開発職向けのES書き方セミナーです。

webサイトに掲載されている一般的な書き方のテクニックではなく、大学院生ならではのES作成に向けた考え方を具体的に説明します。

2024年度実施状況

※オンラインで実施



エマージングテクノロジーズ・深澤講師

2024年度受講者アンケートより

自分と企業とのマッチングを意識して、企業のやりたいことは何なのか、どんな人材を必要としているのかを改めて確認したいと思いました。

話題の構造化、というところで全体を示しつつ、自分の特に伝えたいことを詳しく伝えることができるという方法を研究発表などでも使いたかったです。



⑤ キャリアマネジメントセミナー（演習）

MC・DC・PD

- 1.文章を書く基本がわかる！
- 2.文章を書く仕事のマインドセットがわかる！
- 3.自分が文章を書くときの癖がわかる！



マスコミ・サイエンスコミュニケーター等の就活のためのマインドセットや、採用試験の小論文・作文対策のため基本的なストーリーの作り方を学べるセミナーです。

(株)イノベーターズ・キャリア・サポート(ICaS)より経験豊かな講師をお迎えしています。

小論文・作文セミナー

～マスコミ・サイエンスコミュニケーター等を志望する方に役立つ就活対策～

2025年度実施予定

2025年8月～10月(予定)
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

2024年度受講者アンケートより

2024年度実施状況

※オンラインで実施



イノベーターズキャリアサポート
松尾講師

作文と論文の違いや、発想力・構想力を鍛えるポイントが印象的でした。演習も含めて実践的な時間でした。

作文のポイント解説以外にも、広報とサイエンスコミュニケーターの職業そのものに関する解説をいただけたことが、志望する業種を俯瞰する良い機会となったため大変有意義だと感じました。

マインドセットの方法をかなり細かく段階に分けて解説していただけたので、自分でもやってみようと思えました。

小論文・作文添削

2025年度実施予定

2025年8月～10月(予定)
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

決められた時間・文字数で作文を執筆していただき、講師が添削します。実際に執筆してみるとより効果的です。

2024年度受講者アンケートより

- ・他人から自分の文章を添削してもらえないため、よい経験になった。自分の視点、経験を取り入れるという点が参考になった。
- ・論文との違いが明確になった。先生も親切で良かった。

③ Advanced COSA

MC・DC・PD

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!



企業研究開発の第一線で活躍されている研究所長や研究部長クラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話しも盛り込みます。

1. 大学院共通授業科目
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
(Advanced COSA(1)、(2)) (各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

2025年度開催予定

Advanced COSA(1):2025年7月頃(予定)
Advanced COSA(2):2025年11月頃(予定)

スケジュール

(1日目)	(2日目)
・ガイダンス(10分)	・企業講師③講演(60分)
・企業講師①講演(100分)	・質疑応答(50分)
・昼休み(60分)	・企業講師④講演(60分)
・質疑応答(50分)	・昼休み(60分)
・企業講師②講演(100分)	・質疑応答(50分)
・質疑応答(50分)	・企業講師⑤講演(60分)
	・質疑応答(50分)
	・総括討論、まとめ(20分)

※詳細はシラバスをご覧ください

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ 東レ
■ 旭化成	■ トクヤマ
■ アステラス製薬	■ 新潟大学
■ アラヤ	■ 日本アイ・ビー・エム
■ 川崎重工	■ 日本製鉄
■ 京セラ	■ 日本電気
■ 協和発酵キリン	■ 日本電気特許技術情報センター
■ クラシエ製薬	■ 日本電信電話
■ クレハ	■ ノバルティスファーマ
■ 神戸製鋼所	■ 日立製作所
■ コーセー	■ ヘンケルジャパン
■ 資生堂	■ 堀場製作所
■ 島津製作所	■ マルハニチロ
■ 昭和電工	■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
■ 住友ファーマ	■ 三菱電機
■ 住友化学	■ メタジェン
■ ダイセル	■ ヤンマー
■ 武田薬品工業	■ 横浜国立大学
■ 大日本印刷	■ ライオン
■ 中外製薬	■ ラクオリア創薬
■ テルモ	■ リコー
■ デンソー	■ レゾナック
■ 東急建設	■ レノバ
■ 東芝	■ ロート製薬
■ 東北大学	

2024年度実施状況



NEC特許技術情報センター・奥田講師



三菱ケミカル・久保講師



大日本印刷・秋田講師



リコー・山本講師



中外製薬・田口講師



ヘンケルジャパン・川本講師



住友化学・河原講師



みずほ第一FT・塩原講師



レゾナック・大内講師



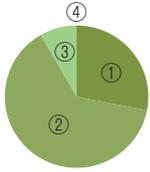
京セラ・藤森講師

2024年度受講者アンケートより

質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

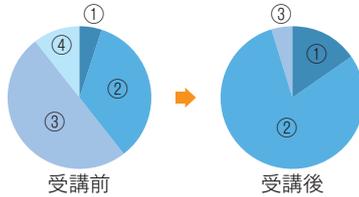
- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

①②の肯定的な感想が92%



質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
 - ②ある程度理解している
 - ③よく理解していない
 - ④全く理解していない
- ①②のある程度以上 理解の比率が40%→95%



■受講生より■

- 大学と企業での研究の違いや、企業の技術職におけるキャリアの歩み方を理解する事ができた。今後の進路選択の際に活かしたい。
- 企業のリアルなお話を聞いて、領域が違うだけでなく、研究自体から離れて働く人も多くいることを知りました。自分が入社する時に企業に求められていることを改めて考える機会になりました。
- 博士課程に進学したとしても専門にこだわる必要はなく、自分の興味のある方に飛び込むことの方が大事であることが印象に残った。

先輩からひとこと

Message

秋田 郁美

大日本印刷株式会社
研究開発・事業化推進センター
2021年3月 北海道大学大学院
工学院 博士後期課程修了



Advanced-COSAを受講したことがない、受講を迷っている方は、ぜひ受講してみませんか? どんな方にとっても必ず新たな発見があると思います。

もし興味がある企業が講演リストにあれば、たっぷりの質疑時間のほか、講義後に講師に声をかけることも可能です。あるいは自分の専門と関係ない企業も、話を聞いてみると置かれている状況や立場が似ている講師がいて、考え方が参考になるかもしれません。また全く講演リストにピンと来なくても、友達とキャリアについて共通の話題ができたり、質問の練習の場にできたり、数年後の自分にとってのヒントが得られることもあります。北大OBIによる北大生のためだけの時間、という貴重な機会をぜひ活用しましょう。

講師側も、みなさんの時間を無駄にせず、できるだけ役に立てるように準備をしています。例えば私の場合は、自分の専門が無機材料科学であるのに対して、受講生の多くはバイオや有機化学系と伺ったので、内容を少し工夫しました。専門性の活かし方よりも就活時の価値観の移り変わりやライフワークバランス、会社内のキャリア制度などを中心にお話しました。私は博士課程修了後に民間企業へ就職すると決めていましたが、企業選びの軸はブレブレ。そこをS-cubicの面談や赤い糸会などを活用しながら掘り下げていき、最終的にはできるだけ幅広い事業に携われそうなポートフォリオカンパニーに絞りました。またライフイベントを見据えた勤務地選び作戦と結果、その後のお話にも触れています。幸い質問も時間いっぱいまでしていただき、休憩時間に声をかけてくださる方もおり、大変嬉しく思いました。実際に講師を経験してわかったことですが、OBとして依頼を受けると「できることは何でも協力したい!」という気持ちが不思議と湧いてきます。あとはみなさんが踏み出すかどうかです。学業との両立は大変ですが、そんなときこそ一歩外に出てみましょう。

Advanced COSAに参加して

Message

荒井 那允
水産科学院 海洋応用生命科学専攻
2026年3月修了予定



理系大学院生の場合、企業の研究職について考えてみたことがあると思います。研究職に就いているOB-OGの知り合いがいれば情報を容易に手に入れますが、そうはいかない方もいると思います。私もその一人で研究職に関する知識が不足しており、研究職に就くイメージができずいました。そこで、A-COSAを受講することにしました。A-COSAでは様々な業界の方の話を聞くことができます。実際に受講してみると講師の経歴から企業での一日、企業の研究職で求められるものを聞くことができます。また、企業の研究内容についてもかなり込み入った内容(現在進行中の研究開発プロジェクトや今後の展望)の場合もあり、ここまで詳しい説明は企業が一般向けに開催する説明会では得られない情報も多くあると実感しました。また、講師には私たちの世代に近い方だけでなく、勤続年数の長い所長クラスの方もいます。これにより、研究チームのリーダに必要な素質や視野の広さを実感することができ、就職してから20-30年後の長期的にみた場合のイメージもできます。さらに、私の場合は企業からアカデミアに転身した方の話も聞くことができアカデミアで求められる人材についても理解することができました。各講演の後には質疑応答の時間は長く設けられているため、生じた疑問を即座に解消することができます。また、他の学生が質問した内容から得られるものも多々あるため、より一層の理解を深めることもできます。

私自身は現在アカデミアを志望していますが、A-COSAの受講当時は企業の研究職とアカデミアで迷っていました。受講をとおして、企業とアカデミアとの違いを明確にすることができ、希望進路を明確にすることができました。もし、企業の研究職かアカデミアで進路に迷っている場合は受講を検討してみてください。1日あたりの拘束時間が長く、研究をしたいと思う方もいるかもしれませんが、多くのことを得られると思います。

Advanced COLA

MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、産業界に活躍の場を見出された企業人の方3名をお招きし、人文・社会科学系大学院で学び、そこで身につけた教養が産業界でどのように活用できるのか、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただきます。また、人文・社会科学系の博士だからこそできる社会の課題解決についても論議します。

2024年度実施状況



たばこ総合研究センター 橋爪講師



資生堂 高村講師



堺市文化振興財団 常盤講師

2024年度受講者アンケートより

基本的に所属学院の博士課程で想定されているキャリアがアカデミア就職に限定されているので、本セミナーでその他の進路に進んだ博士の人たちのお話を聞けて良かった。

大学院を修了された方が研究成果をどのように生かしているかがよく分かった。

④ キャリアパス多様化支援セミナー

MC・DC・PD

- 1.ファシリテーションを実体験!
- 2.研究室でも活かせる交渉力!
- 3.専門性をアピールするプレゼン力!



大学院で学んだ専門性を幅広く社会で活かすためのスキルとして、ファシリテーション、交渉学、プレゼンテーションを身に付けるセミナーです。これらのスキルは知識として知っているだけでは、なかなか役に立ちません。基本的な事項を学んだ後、実際に演習をして、自分の癖や特徴を知り、それらを活かす方法を見つけ出しましょう。

- 1.大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」(1単位)
- 2.生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

2025年度実施予定

I(プロジェクトファシリテーション):2025年6月頃(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

II(交渉学):2025年7月頃(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

III(研究力アピール強化ワークショップ):2025年11月頃(予定)

大学院生の最も大きな特徴は研究力が高いことです。しかし、学会と同じようなプレゼンでは、企業就職やアカボス獲得のようなキャリアを切り開く際には高い評価が得られません。自身の特徴や研究力をアピールするプレゼンを演習で身に付けます。

2024年度実施状況

I プロジェクトファシリテーション



古河電気工業 関講師

2024年度受講者アンケートより

ファシリテーターは会議の決定役ではなく進行役であることや傾聴や事前準備の大切さを理解することができた。グループワークで他の参加者からフィードバックをもらったのも良かった。

サークル等で行事の決定や課題解決をする時の話し合い、研究ではメンバーの作業の分担決めや、ゼミでのディスカッションでも活用できると思った。

II 交渉学



東京富士大学 隅田講師

2024年度受講者アンケートより

交渉が苦手な相手の勢いに押されてしまう傾向があり、自分の希望を伝えず諦めてしまうことが多いのですが、隅田先生から向き合うことの大切さを教えていただいたのでこの学びを活かしていきたいと思います!

何かしたいことを伝える時に、自分の意見をただ通すのではなく、客観的な物事の捉え方から意見を伝えるようにしたいと思った。

III 研究力アピール強化ワークショップ



2024年度受講者アンケートより

面接で採用企業が自分のどの部分を見ているのか(自分の研究成果ではなく、むしろ今までの経験)を知れて非常に参考になりました。

グループワークで研究力について考察が深められた。自身の研究を細分化することで、アピールポイントを絞れた点良かった。

⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD

1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 自分の特徴を活かす進路を探索!
3. プライベートな事も相談可!



WEBで得られる就活やキャリアに関する情報は学部生向けが多いため、専門性が高い大学院生が参考になると、その能力を活かすことができない結果になりがちです。また、大学院生の専門性を活かすキャリアは、その専門領域毎に異なるため、WEBから知識を得ることは困難です。博士課程の学生や博士を目指す大学院前期課程の学生はできるだけ早い時期にJ-windowで個別相談することをお勧めします。

主な就職先

(敬称略、五十音順)

■ アミノアップ	■ 神戸製鋼所	■ 島津製作所	■ 第一三共	■ fixpoint
■ SAPジャパン	■ 小林製薬	■ 住友金属鉱山	■ 東レ	■ 富士通研究所
■ 協和キリン	■ サントリー HD	■ セイコーエプソン	■ 日本入試センター	■ ロート製薬
■ 構造計画研究所	■ 塩野義製薬	■ 積水化学工業	■ 農研機構	

J-window を活用して

有馬 銀河

理学院 宇宙理学専攻 (DC3)
2025年3月修了予定
→富士通株式会社内定



私は博士1年の2月頃からJ-windowを利用しはじめました。当初から企業への就職を希望していましたが、博士卒での就職活動は情報収集が難しく、はじめは就職活動の進め方についてほとんどイメージできていませんでした。また、私は志望する業界が定まっていなかったため、まずは個人面談で自身に合った業界から相談させていただきました。その中で、企業は博士人材に対して研究活動を通じて身につけた能力を求めていることを教えていただき、志望する業界が必ずしも自身の専門分野と一致する必要はないことを知りました。個人面談を通じて、自身が携わりたい業界や企業で活かせる能力についてじっくり考えることができ、自身が志望する業界を定めることができました。

就職活動が本格化すると、J-windowではES作成や面接対策でもお世話になりました。個人面談を通じて企業が博士人材に求める能力を教えてください、自分が研究活動を通じて培ったスキル・経験・努力の多くが就職活動や企業に就職した後でも活かせることを知りました。そして、そのような能力を企業に最大限アピールする方法をES添削や面接練習を通じてご指導いただきました。就職活動をはじめた頃は不安だらけでしたが、J-windowを活用したおかげで自信を持って選考に臨むことができ、納得のいく就職活動を進めることができました。

博士課程での就職活動は、研究活動との両立が難しく相談できる同期も少ないため、学部生や修士学生とは別の難しさがあると思います。特に、就職活動に関する情報には博士学生を対象としたものが少ないため、インターネット等の情報を参考にするだけでは自身の能力を企業に対して最大限に伝えることはなかなか難しいと思います。J-windowでは、一人一人に寄り添ったアドバイスをいただけたと思いますので、皆さんもぜひ活用してみてください。最後に、多くのご支援を賜りました先端人材育成センターの先生方、スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

J-window を活用して

江部 陽

総合化学院 総合化学専攻 (DC3)
2025年3月修了予定
→花王株式会社内定



博士2年の9月に赤い糸会へ参加し、本格的に選考対策したい気持ちが強くなった頃、吉原先生の勧めで初めてJ-windowを利用しました。もともと博士人材として企業で働くことに興味があり、博士1年の頃から赤い糸会に参加していましたが、具体的な選考対策は行っていませんでした。そのため、利用し始めた頃のエントリーシートは一方的な研究内容の押し付けになっていました。しかし、添削の際に企業が求めている能力は「どのように考え研究したか」であると教えていただきました。相談を通して、研究内容ではなくスキルや考え方が自身の強みであると理解し、読み手の立場を考えた文章が書けるようになりました。伝え方の工夫は面接に進んだ後にも応用でき、自身の経験に基づいた考え方をアピールする際にとっても役に立ちました。

J-windowを利用した相談は博士課程修了後のキャリア観の形成にも活用できました。就職活動中、私はポスドクとして一年間フランス留学をしてから日本の企業へ就職する進路を希望していました。しかし、企業の採用条件が厳しくなるうえ、海外で研究したい以外の理由が無かったため、当時はポスドクへ進むことを迷っていました。相談で企業のメリットを考えるようにサポートしていただいたことで、海外ポスドクを経験してから企業で活躍したいというユニークなキャリアを強みにできると思うようになりました。また、海外ポスドクとしての経験が企業研究者にも魅力的なキャリアパスであることを見出すことができました。個別相談は就職活動だけでなく一人ひとりの進路の悩みも聞いて下さるため、企業への就職を希望している方だけでなくアカデミア志望でも将来の可能性を広げることができます。J-windowを活用してみようと思ったあなたの就職がうまくいくことを応援しています。最後に、長い間温かくサポートして下さった吉原先生、村上先生、先端人材育成センターの皆様にご心より御礼申し上げます。

⑨ 赤い糸会 (赤い糸ONLINE)

DC・PD



1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. 活躍できるフィールドを拡大する!

赤い糸会は異なる業界の企業と様々な分野の博士人材が相互交流し、博士人材が活躍できる場を探索するマッチングの場です。参加企業は自社の事業や研究開発の内容および博士人材への期待を発表し、博士人材は自身の研究内容や人となりをアピールし、さらには意見交換することにより、研究所見学やインターンシップ、個別相談等の次のステップに繋がります。北大の博士を採用したい企業が参加するので、他のイベントよりもマッチングする確率が高いことが特徴です。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)
専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」
(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください

2025年度実施予定

2025年4月~12月に3回程度実施予定

オンライン実施時のスケジュール

(事前)	(当日)
・企業動画視聴	・博士人材プレゼン
	・企業ルーム交流
	・情報交換交流会

対面実施時の1日スケジュール

- ・主旨説明(20分)
- ・企業講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・博士人材のポスター発表(130分)
- ・企業との個別交流(120分)
- ・情報交換交流会(90分)

2024年度参加企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ コニカミノルタ	■ トクヤマ
■ 旭化成	■ サントリー HD	■ とめ研究所
■ アステラス製薬	■ 三桜工業	■ 日経BP
■ アミノアップ	■ JSR	■ 日本電気
■ アルビオン	■ 資生堂	■ 日本電信電話
■ ウェザーニューズ	■ 島津製作所	■ 日本入試センター
■ エーザイ	■ 住友化学	■ 日本ベーリンガー インゲルハイム
■ SAPジャパン	■ 住友金属鉱山	■ パナソニックグループ
■ ENEOSマテリアル	■ セイコーエプソン	■ 富士通
■ 大塚製薬	■ 大日本印刷	■ プリチストン
■ 京セラ	■ 中外製薬	■ 北海道立総合研究機構
■ 協和キリン	■ D4cプレミアム	■ MiDATA
■ クレハ	■ TDSE	■ みずほ第一フィナン シャルテクノロジー
■ ケンブリッジコンサル タンツ	■ テルモ	■ レゾナック
■ 神戸製鋼所	■ 東芝	
	■ 同仁医薬化工	

2024年度実施状況



個別交流会(オンライン)



企業講演



ポスター発表



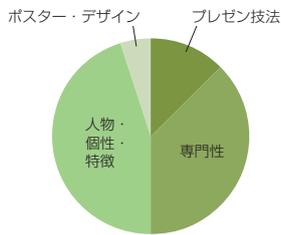
個別交流会

2024年度の総参加延べ数 企業:45社、博士人材:86名

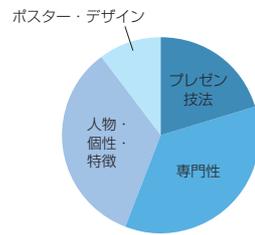
2024年度のアンケート結果

ポスター発表について

博士人材がアピールできた点



企業が注目する点



■博士人材より■

- HPや説明会では得られなかった自分に適応した情報をここだけの話という感じで知ることができ非常に参考になった。採用の裏側や担当者の想いなども聞く機会があり勉強になった。
- 研究分野が一致していなくても研究内容の切り取り方の視点を変えることで、研究内容をベースにマッチングできることに気づいた。

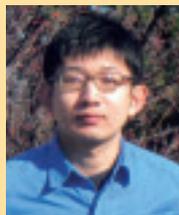
■企業担当者より■

- 博士課程で習得した課題発見や課題解決の力を発揮して様々な技術領域や業務に挑戦されると、活躍の可能性が広がると思います。
- 専門性をベースとして、研究テーマの形成力や後輩指導の能力などに期待を寄せています。
- 基礎研究だけでなく、製品開発や新事業探索などビジネス寄りな仕事にも関心を持ってけると有難いです。

OBとして赤い糸会に参加して

山根 伊知郎

住友金属鉱山株式会社
技術本部市川研究センター
2023年3月 北海道大学大学院
総合化学院 博士後期課程修了



私は学生時代、赤い糸会に2回参加し、そこでご縁をいただいた非鉄素材メーカーで現在研究員として働いています。企業側としての参加は今年で2回目です。学生側と企業側、双方の立場を経験して感じたことを、この場をお借りしてお伝えいたします。

赤い糸会は、普段関わることのない分野の企業とも交流できる絶好のチャンスです。せっかくの機会ですので、就職に繋がらそうかどうかに関係なく、多様な業界に興味を持っていただければと思います。社名や企業のショートプレゼンだけではわからない情報がたくさんあります。その後のセッションでは自己アピールと同じくらい、企業側からも情報を引き出すよう心がけてください。学生が考えている以上に、企業ではさまざまな事業や仕事があることがわかります。特に企業側からは博士卒の社員が多数参加していますので、込み入ったことも気兼ねなく尋ねてみてください。実際、私も赤い糸会で初めて現在の勤務先を知り、思わぬご縁に恵まれました。

企業との情報交換を効果的に行うために重要になるのが、自分の「専門性」の伝え方です。プレゼンテーション演習でも指導されるように、「専門性」をより広く捉えることが大切です。学位取得時の研究テーマと企業でのそれが完全に一致することはあまりありません。しかし、一致していない部分を迅速に習得することは必須となります。その際の基盤となる知識や技術こそが、企業が求める「専門性」と言えるでしょう。そのことを念頭に置き、「自分は何を知っていて、何ができるのか」が伝わるようなプレゼンテーションを心がけてください。

赤い糸会は、自分の専門性がどのような分野に通用するのを探る絶好の場であり、新たな視点で企業を見る機会でもあります。積極的に質問をし、企業の方々と深く交流することで、思いがけない企業との出会いや自分の可能性の広がりを感じていただけることでしょう。有意義に活用していただき、皆様の未来がさらに広がることを心より願っております。

赤い糸会に参加して

青山 悠

生命科学院 生命科学専攻 (DC3)
2025年3月修了予定
→サントリーホールディングス株式会社社内定



私はD2の秋に、「民間就職を考えているし、ちょっと参加してみようかな」という軽い気持ちで赤い糸会に参加しました。参加前は、自分の専攻と直結しそうな業界ばかりに目を向け、高い専門性をアピールすべきだと考えていました。しかし、赤い糸会で企業の方々と直接交流する中で、企業が学生に求めているのは、高度な専門性よりもむしろ人間性や個性、そして汎用的な研究遂行力であることが分かりました。また、どんな専門分野でも意外な場所で活躍のフィールドが広がっていることも実感しました。これらを就職活動の初期段階で知ることができたのは、その後の活動において非常に大きな助けとなりました。

私が内定をいただいたサントリーホールディングス株式会社とは、赤い糸会がきっかけでご縁ができました。私の専門や将来やりたいこととマッチしていることは事前に把握していましたが、実際に社員の方々とお話しする中で、その人柄の素晴らしさに触れ、「ここで働きたい!」と強く思うようになりました。このように、対面で社員の方々と深く交流できることが赤い糸会の大きな魅力だと思います。

赤い糸会への参加準備として、普段の学会発表とは異なり、自己PRを含めたポスター作成やプレゼンテーション練習の機会をいただけます。これらはかなり大変でしたが、それ以上に非常に役に立ちました。自分には何ができて、今の自分は何がしたいのか、そして将来どんな姿になりたいのかというビジョンがより明確になったと思います。また、これらの事前準備や企業の方々と交流を通して、自分の経歴やスキルを客観的に評価してもらったことができた点も非常に有益でした。この経験は非常に有意義でしたので、ぜひ赤い糸会に参加してみてください!

最後に、先端人材育成センターの皆様には、ES添削や面接練習など、多くの場面で大変お世話になりました。職員の皆様はとも気さくで、親身にサポートして下さるので、どんなことでも気軽に相談してみたいかがでしょうか。

プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する博士人材は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関してはあまり詳しくない場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。2024年度は、赤い糸ONLINEに用いるプレゼンスライドの作成および対面の赤い糸会に向けたポスター作成のポイントやアピール方法について演習しました。

2025年度開催予定

各回の赤い糸会に先立って実施予定



⑩ 企業研究サイトビジット

DC・PD

1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業視線での自身のスキル評価!
3. 大学と企業で研究の差異を認識!



「赤い糸会」に参加し、企業との接点を構築した博士人材を、ただ企業を訪問するだけではなく、実際に企業の研究者の前で自身の研究内容を発表し、企業研究の目線で見えたコメントや指摘を得、意見交換をすることにより、具体的な産業界への出口のイメージを構築します。

2025年度実施予定

年2回程度実施予定

これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ サントリー HD	■ 大日本住友製薬	■ パナソニック
■ 旭化成	■ シスメックス	■ 田辺三菱製薬	■ 三菱電機
■ アステラス製薬	■ 資生堂	■ 中外製薬	■ 三菱レイヨン
■ 大塚製薬	■ 島津製作所	■ 帝人	■ ヤンマー
■ カネカ	■ 秀和特許事務所	■ 東レ	
■ 京セラ	■ 住友化学	■ 特許庁	
■ 神戸製鋼所	■ ダイセル	■ 日本電気	

2023年度実施状況



京セラ



島津製作所

2024年度実施状況



アステラス製薬



中外製薬



住友化学



住友化学・ポスター発表

企業研究サイトビジットに参加して

平井 杏梨

獣医学院 獣医学専攻 (DC3)

2025年3月修了予定

→株式会社島津製作所内定



私は、卒業後の進路として企業就職かアカデミアかで迷っていましたが、学部を卒業後そのまま院進したので、企業就職についての具体的なイメージが中々持てていませんでした。そんな折、以前院生の先輩に赤い糸会を勧められたことを思い出し、D3の夏に対面開催の赤い糸会に参加しました。そこで株式会社島津製作所のお話を伺い、自分にとって興味のある分野の研究開発も行っていることを初めて知れたのと、その後サイトビジットで実際に研究所を見学させていただいたことをきっかけに、エントリーを決め、内定をいただくことができました。

サイトビジットでは、島津製作所と京セラ株式会社の2社の研究所を見学させていただきました。社員の皆さんが実際に働いているところを横目に研究所を案内していただいたり、研究発表に対して企業や他分野の研究者としての目線での質問をいただいたり、年齢の近い若手社員の方々も交えて食事を取りながらお話を伺ったりと、現地ならではの体験が数多くありました。私の場合はスケジュールの都合上、赤い糸会に参加したときにはもうインターンシップほど長期で札幌を空けるのが難しかったため、短い期間で実際の雰囲気を見る機会をいただけてとてもありがたかったです。

赤い糸会は、様々な企業が参加されていて広くお話を聞くことができる一方で、一つ一つの企業に着目すると、話を伺いたい院生が多くあまり時間を取れない場合もあります。その点サイトビジットでは10名程度で企業に直接伺うため、見学に加えて、確実に詳しくお話を伺うことができます。得難い機会ですので、興味を持った企業やイメージの近い企業がサイトビジットにご協力いただいているのであれば、ぜひ参加してみてもいいと思います。

最後に、訪問を受け入れていただいた企業の皆様、そして、このような場を作っていただいたほか、面談やOGとのつながりなど度々ご支援いただきました。吉原先生をはじめとするS-cubicの皆様にも、この場を借りて感謝申し上げます。

II 博士力実践インターンシップ

DC・PD

- 1.実際に企業活動を体験してみる!
- 2.自身が企業に向いているか判断!
- 3.企業ならではの新しい視点獲得!



国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、説明会だけではわからない多様な社会での活躍方法を体得する機会です。企業が公募しているインターンシップにとどまらず、希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

- 1.大学院共通授業科目「博士インターンシップ」(2単位)
- 2.生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)「博士インターンシップ」(2単位)

インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士学位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	10名
受入企業	国内外の企業・大学
期間	1~3ヵ月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

受入企業からの声

企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

インターンシップに参加して 古川 凌 Message

情報科学院 情報科学専攻 (DC3)

2025年3月修了予定

→株式会社島津製作所内定



私は島津製作所のインターンシップに6週間参加しました。普段は工学と神経科学を組み合わせた神経工学という分野で研究をしています。島津製作所に興味を持ったきっかけは、修士1年の終わり頃に参加した博士インターンシップ報告会でした。その時、島津製作所のインターンシップに関する話を聞いて、島津製作所が医療機器の開発をしていることや、その高い研究技術について知りました。その後、島津製作所について調べていた際に、脳科学の分野でも研究をしていることを知り、インターンシップへの参加を希望するようになりました。

インターンシップでは、基盤技術研究所で、複数の脳活動計測とそのデータ解析に取り組みました。さらに、脳活動計測技術を応用した、社会課題解決策の提案も体験しました。今まで自分が行っていた研究の構想ではビジネスがなく、企業で行う研究は構想にビジネスを含めるという違いを感じたことが、今ではとても印象に残っています。実験やデータ解析以外の時間も、多くの社員さんが気さくに話しかけてくれて、とてもいい雰囲気を感じました。インターンシップに参加している間は、基本的に大学での研究活動は止まります。土日にできる作業もありますが、会社がある地域の雰囲気を知る時間にもいいのではないかと思います。

インターンシップに参加して、社員さんや研究所の雰囲気を近くで感じることができました。そして、入社後に自分の強みをどのように生かすことができるか、不足している力は何かということを知ることができたきっかけが得られました。特に、企業で研究をするうえで自分に不足している力をつける意識を、残りの学生生活で持つことができた点が、有意義であったと感じます。最後に、本稿がこれから進路を選択するみなさんの一助となれば幸いです。

博士インターンシップ報告会

MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月~3ヶ月程度)を体験した現役博士による体験報告会です。

2024年度実施状況

※オンラインで実施



2024年度受講者アンケートより

ISへの参加には赤い糸会への参加がきっかけとなっていたり、先端人材育成センターからのサポートを受けながら企業とのやり取りができるという点は初耳だったので、知れてよかった。

インターンの種類やインターンの流れ、選考について等を知ることができ大変有意義な時間でした。

2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、立命館大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携し13大学に規模が拡大しており、事業期間(8年間)が終了した後も継続して活動しています。また、この事業は科学技術振興機構による事後評価で最高位の「S評価」を受けています。当イベントに参加して内定した学生が翌年以降に企業側で参加する等、本学のイベントとして着実に根付いています。本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の12大学からも参加できますし、12大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、ご利用ください。

イノベーション創出人材連携育成プログラム

13大学が連携し、博士人材を育成



外国人DC・PDのための

I-HoP

外国人DC・PDを支援!

Graduate Career Development for International Students and Researchers

CAREER LINK MEETUP

-For international DC and PDs-(英語版赤い糸会)

外国人DC・PD

- 1.全編英語で行う赤い糸会!
- 2.応募時点で日本語力を求めない企業との直接交流!
- 3.外国人博士の日本での活躍の可能性を広げる!



国内でも極めて珍しい「博士向け」+「使用言語:英語」のマッチングイベントです。2019年初開催、2020年度からはオンラインで実施しています。当イベントに参加して内定した留学生が翌年以降に企業側で参加する等、本学のイベントとして着実に根付いています。企業7社~10社、外国人博士人材20~40名が参加し、日本語の赤い糸会同様に、企業からのショートトーク、博士人材による研究スキルやキャラクターの発表、企業のブースセッションにより、密度の高い交流を行います。I-HoPでは今後の継続開催に向けて、応募時点で日本語力を要求しない(英語で採用の可能性のある)企業の情報を収集しています。

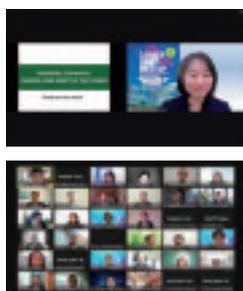
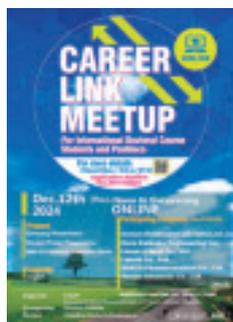
2025年度実施予定

年1回程度実施予定
外国人DC・PD対象

これまでの参加企業

(敬称略、AtoZ順)

- Accenture Japan Ltd(アクセンチュア) ■Astellas Pharma Inc.(アステラス製薬) ■AWL, Inc.(アウル)
- Cambridge Consultants Japan Inc(ケンブリッジコンサルタンツ) ■Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.(中外製薬)
- enU Pharma, Inc.(遠友ファーマ) ■GPSS Group ■Horizon Illumination Lab Optics, Co. Ltd.(HILO株式会社)
- INDETAIL Co., Ltd.(インディテール) ■Kozo Keikaku Engineering Inc.(構造計画研究所)
- KPMG Ignition Tokyo, Inc. ■KYOCERA Corporation(京セラ) ■Leave a Nest Co., Ltd.(リバナース)
- Letara Ltd. ■Mitsubishi Aircraft Corporation(三菱航空機) ■MOLCURE Inc.(モルキュア)
- National Institute of Advanced Industrial Science and Technology(AIST,産総研) ■NEC Corporation(日本電気)
- Rakuten Mobile, Inc.(楽天モバイル) ■Ridge-i Inc.(リッジアイ) ■ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.(ロート製薬)
- Sanoh Industrial Co., Ltd.(三桜工業) ■Shiseido Company, Limited(資生堂) ■Xiberlinc Inc.
- Sony Corporation(ソニー) ■Systemex Corporation(システムエクス)



参加者アンケートより

-The event was highly informative and provided efficient networking opportunity between students and companies.

-We worked very productively with the company's representatives and gained knowledge about the skills needed to work in the industry.

-It was a great chance to talk with companies in English, and the good thing about this interaction was that at least the language gap was not an issue. All the discussions and meetings were fruitful and I got interested and will be applying to a couple of companies after attending this event.

移転可能研究力強化セミナー

外国人DC・PD

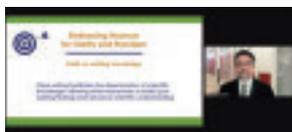
- 1.英語による多様なセミナーを開催!
- 2.海外の研究者との交流!
- 3.視野をグローバルに広げる!



主に外国人博士人材の研究力強化、キャリアパス多様化等を目的として「英語論文執筆セミナー」「日本でのビジネスマナー」「海外でポジションを獲得した先輩留学生による講演」等の多様なセミナーを英語で開催しています。

2025年度実施予定

調整中
DC・PD対象(日本人含む)



2023~2024年度開催セミナー(抜粋)

-Improving Your Oral Presentation Skills

-Career Guidance for Students going into PhD Course

-Building Academic Career in Japan for International Students

-Writing a Compelling Article for Journal Submission

-Tips for designing your presentations: What I learned from scientists abroad

-Building Trust: Business Manners and Etiquette in Japan

北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター
センター長
教授 吉原 拓也



先端人材育成センターのS-cubicでは、大学院学生(MC・DC)や博士研究員(PD)等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル(Transferable Skills)を提供するプログラムです。

平成18(2006)年度にS-cubicがスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10年以上の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発・普及・定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー」、「博士力実践インターンシップ」、「Advanced COLA」などの新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成23(2011)年度以降はこれらプログラム単独、あるいは組み合わせで4つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PDと企業の登録制Webコミュニケーションシステム「Hi-System」、DCやPD専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムから採用を検討したい」などの嬉しい

コメントが寄せられており、これは長年に渡るS-cubic活動の積み重ねの成果と考えています。

また平成26(2014)年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の3大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに3大学コンソーシアムは新たな参加大学を迎え、令和4(2022)年度までに13大学まで発展することとなり、その人材育成プログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子「S-cubic通信」に詳しく記載しましたので、ぜひ一読下さい。

S-cubicは、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や業界とのマッチングの場等を提供します。まずHi-Systemに登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆さんのご活用を期待しています。

先端人材育成センター 組織と役割

先端人材育成センターでは、博士後期課程学生(DC)や博士研究員(PD)のキャリアデザインのための育成支援、連携大学とのコンソーシアムを組むことによるそれらの施策の共有化、学内外の連携による多様な研究人材の研究環境整備に取り組んでいます。また、キャリアセンターと連携することにより学部から士まで一貫したキャリア教育・キャリア支援を実施しています。

総長

理事

大学院教育推進機構

上級人材育成部門

S-cubic

1. 博士人材の就職支援事業の実施、意識調査、カウンセリング/J-window
2. 人材関係情報(大学院生、研究者、教員、企業)の交換や集積と解析/Hi-System
3. キャリア形成プログラムの開発と推進/Advanced COSA、Advanced COLA、キャリアマネジメントセミナー、キャリアパス多様化支援セミナー、演習や講習
4. 企業情報の直接入手とマッチング、自己PR能力向上/赤い糸会
5. 博士力実践の向上と実務体験/博士力実践インターンシップ

I-HoP(国際人材育成プログラム)

1. 海外からの若手研究者の意識調査、国内外大学院キャリア支援組織の調査と連携
2. 海外からの若手研究者のためのキャリア相談窓口設置
3. 海外からの若手研究者のためのキャリア形成プログラム開発

連携型博士研究人材育成推進部門

COFRE

1. 北大、東北大、名大で協働して若手研究者育成(現在は、大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、神戸大学、兵庫県立大学、立命館大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携)
2. 施策の相互乗り入れ、参加枠提供、共同開催

